



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2015～2016 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「外に発信 内に達成感 さあ行動しよう！」

◆会長 大保木 正博 ◆幹事 坂之上 健一 ◆会報委員長 谷口 欣也 ◆会報担当 黒地 重雄

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1068 回	54 名	52 名	46 名	—	88.46%
前々回 1066 回	54 名	52 名	42 名	1 名	82.69%

<点 鐘>

会長 大保木正博

<ロータリーソング>

我等の生業

<会長の時間>

会長 大保木正博

先週の 11 月 7 日(土曜日)に、次期地区ガバナー補佐セミナーが岐阜都ホテルで開催されました。次期ガバナーであります劔田ガバナーエレクトが主宰される初めてのセミナーで、当クラブからは劔田ガバナーエレクトはじめ伊藤次期地区代表幹事、地区幹事、島地区大会実行委員長今年度こうしたセミナーが次々と開催されていきます。会員の皆様にも設営やおもてなしの面でご協力をお願いすることがあると思っておりますがよろしくお願ひします。

さて、いよいよ今週土曜日には「高山中央ロータリークラブ創立 25 年記念式典及び祝宴」が開催することとなります。後ほどリハーサルが行われますが、皆様当日はよろしくお願ひいたします。

今年度こうしたお客様を迎える行事が多くなっていますが、今日は「おもてなし」についてお話ししたいと思います。

「感動のおもてなし」と言いますとやはり東京ディズニーランドではないでしょうか。東京ディズニーランドの母体である株式会社オリエンタルランド相談役の堀 貞一郎顧問が次のようなお話をしてみえますのでご紹介いたします。

～ マニュアルを越えたところに感動がある ～

東京ディズニーランドにある若い夫婦が来ました。ランド内のレストランで彼らはお子様ランチを注文したのです。もちろん、お子様ランチは 9 歳以下とメニューにも書いてあります。子供のいないカップルにはマニュアルではお断りする種類のもので、当然、「恐れ入りますが、このメニューにも書いておりますが、お子様ランチはお子様用ですし、大人には少し物足りないかと思われそうです。……」というのがマニュアルです。

しかし、アルバイト(キャスト)の青年は、マニュアルから一歩踏み出して尋ねました。「失礼ですが、お子様ランチは誰が食べられるのですか？」

「死んだ子供のために注文したくて」奥さんが答える。「亡くなられた子供さんに」とキャストは絶句しました。「私たち夫婦は子供がなかなか生まれませんでした。求め続けて求め続けてやっと待望の娘が産まれましたが、体が弱く一歳の誕生日を待たずに神様のもとに召されたのです。私たち夫婦も泣いて過ごしました。子供の一周忌に、

いつかは子供を連れて来ようと話していたディズニーランドに来たのです。そしたらゲートのところで渡されたマップに、ここにお子様ランチがあると書いてあったので思い出し……」そう言って夫婦は目を伏せました。

キャストのアルバイトは「そうですか。では、どうぞ召し上がってください」と応じました。そして「ご家族の皆さま、どうぞこちらのほうに」と四人席の家族テーブルに夫婦を移動させ、それから子供用のイスを一つ用意しました。そして「子供さんはこちらに」とまるで亡くなった子供が生きているかのように小さなイスに導いたのです。しばらくして運ばれてきたのは三人分のお子様ランチでした。キャストは「ご家族でごゆっくりお楽しみください」と挨拶して、その場を立ち去りました。若い夫婦は失なわれた子供との日々をかみしめながら、お子様ランチを食べました。このような行為はマニュアル破りの規則違反です。しかし、東京ディズニーランドでは先輩も同僚も彼の行動はとがめません。それどころか彼の行為はディズニーランドでは賞賛されるのです。マニュアルは基本でしかありません。それを越えるところに感動が潜んでいるのです。この出来事に感動した若い夫婦は、帰宅後に手紙を書きました。

「お子様ランチを食べながら涙が止まりませんでした。まるで娘が生きているように家族の団らんを味わいました。こんな娘との家族団らんの体験を東京ディズニーランドでさせていただくと、夢にも思いませんでした。これから、二人で涙をふいて生きてゆきます。また、二周忌、三周忌に娘を連れてディズニーランドに必ず行きます。そして、私たちは話し合いました。今度はこの子の妹か弟かを連れてきつと遊びにゆきます」という手紙が東京ディズニーランドには連日届けられます。

それはすぐに張り出され、コピーされ、舞台裏で出演の準備をするキャストに配られます。舞台裏ではキャストとして働いている多くの男女の若者が共感して泣くそうです。

でも、しばらくして先輩が号令をかけます。「涙はここ(舞台裏)まで、パーク内では涙は禁物。今日も日本中いや世界中の人が、ここディズニーランドに感動を求めて来ています。今日はどんなドラマを誰が創るのかな？」



それでは、みんな笑顔で準備を！」と。
ミッキーマウスの産みの親ウォルト・ディズニーがディズニーランドに求めたもの、それはお客が映画の世界に入り込み、一緒に感動を作り上げていくことでした。だから東京ディズニーランドではお客をゲスト（共演者）と呼び、従業員をキャスト（出演者）と呼びます。キャストはいつも感動を探しています。

「高山中央ロータリークラブ創立 25 周年記念式典」は、私たちのクラブの四半世紀の足跡を祝うと共に、設立から今日までお世話になった方のご尽力に感謝する場であり、更には今後に向けた高山中央ロータリークラブのアイデンティティ、スピリッツを示す場になります。
こうした行事に想定外の事態と失敗はつきものです。そんな時、それぞれがご担当いただく部署において、マニュアルを超えた対応をしていただければ、そこには想定外の事態・失敗を超えた感動と評価があるのではないのでしょうか。創立 25 周年記念式典よろしくお祈いします。みんなで盛り上げましょう！

<幹事報告> 幹事 坂之上 健一

- 国際ロータリー第 2630 地区 地区大会実行委員長より
 - ・地区大会表彰のお知らせ
 - RI 表彰「会長賞」「ロータリーデー賞」
- 濃飛グループガバナー補佐より
 - ・ソウル国際大会参加人数の報告について
 - ・ロータリー財団例会の報告について
- <飛騨慈光会後援会より>
 - ・設立 10 周年記念大会出席のお礼

<本日のプログラム> 創立 25 周年実行委員会 橋本 委員長

創立 25 周年記念例会の説明とリハーサル



<ニコニコBOX>

11/7 の次期ガバナー補佐研修セミナーには、次期地区幹事の皆様に多大なるご尽力を頂き無事終わることが出来ました。ありがとうございました。 劔田 廣喜

11/2 の例会には、私の誕生日と結婚記念日を祝って頂きありがとうございました。妻には日頃の感謝を込めて稲豊園のお菓子を渡しましたが効果がなかったようでした。 高原 清人

先般は、誕生日プレゼントのボールペンありがとうございました。早速、使っております。大変便利ですが、数年で消える事があるそうです。 黒地 重雄

本日は予期せぬ臨時収入がありましたので感謝を込めてニコニコへ。行事が多く色々物入れですがどうかニコニコへご協力をお願いします。 高木 純